



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』

1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』

1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会

5月22日第560回例会

☐夜間例会／レディス・デー

“上月美智子ポルトガルの哀愁、ファド”

ファド歌手 上月美智子氏 ギター 今井 満氏 ピアノ 武藤晶子氏

曲 目

1. セ・シ・ボン 2. ロマンズ 3. 聞かせてよ愛の言葉を 4. さくらんぼの実る頃
5. ポルトガルの家 6. 懐かしのリスボン 7. コインブラ 8. 涙 9. マリア・リスボン
10. 暗いはしけ 11. ヴィアナへ行こう

◎先週報告

5月15日第559回例会

☐ブッフエスタイル例会のため卓話はありませんでした

☐会長報告

第2750地区岩井敏ガバナールより、1999～2000年度当地区ガバナーノミニ候補者を指名いたしましたとの報告がありました。(詳細裏面参照)

☐幹事報告 クラブ協議会開催のお知らせ

本年度第6回・新年度第1回クラブ協議会を来る6月12日(金)例会後開催致します。同協議会のテーマは「本年度各委員会活動報告と新年度各委員会活動計画」です。全会員のご出席をお願い申し上げます。尚、本年度各委員長は「本年度委員会活動報告書」を6月5日までに事務局へ提出下さいますようお願い申し上げます。

☐職業奉仕委員会報告(伊部委員長)業界団体に関するアンケート結果報告

先般、業界団体に関するアンケートに対して、会員71名中42名の皆様よりご回答を頂きました。(回答率59%)ご協力頂きましてありがとうございました。結果は次の通りでした。

業界団体加盟状況 (1)本人加盟せず ……5名 12%
(2)メンバーではあるが役職には就任せず ……12名 29%
(3)役職就任 ……24名 59%

大多数の方々が影響のある役職にご就任されており、業界団体における活動を職業倫理の確立・徹底の場とすることに努力頂ければと存じます。

☐環境保全委員会報告(佐々木委員長)東京都明清掃工場見学会のご案内

地球環境問題は、温暖化、オゾン層破壊等、八つの問題があるとされています。その中で動物の生殖や免疫機能を阻害するダイオキシン等の「環境ホルモン(内分泌攪乱物質)」が最近特に問題視されています。当委員会では、ダイオキシンの発生源の一つであるゴミ焼却炉のある清掃工場で、この問題を認識し、勉強するため、見学会を催すことにしましたので、多数の方(15人以上)の参加をお願い致します。

1. 日時 6月10日(水)13:50 現地集合
2. 場所 東京都明清掃工場 TEL. 3529-3751 3. 会費 無料

☐出席報告 ●会員71名/出席50名・欠席・21名(出席規定免除者1名)4月修正出席率86.81%
ビクター(9名 敬称略・順不同)/酒井田正宏(ハウステンボス佐世保)、佐々木詰彦(鶴岡)、増田 実(東京)、吉田雅俊(東京新都心)、平山哲雄・升田忠昭・川田文郎・BARON(以上東京西)、矢橋信雄(東京南)



5月15日/10件 30,000円
97～98年度累計 2,035,992円
多額のご寄付を有難うございます。
(順不同、敬称略)

保森 登/おかげ様で11年皆勤賞をいただきました。伊部和夫/100%出席5年を達成出来ました。梶内滋男/皆様のお陰で5年皆勤が出来ました。ありがとうございました。コンシニ/インシエーションスピーチのごせいちょうをありがとうございました。宮武保義/また一つ齢を重ね、ゴルフ倶楽部からは、グランドシニアの真っ赤な帽子とチョッキが贈られる年になりました。荒木昭文/食べ歩き会の写真有り難うございました。柴藤清三郎/メイキャップがつづきましたので。馬場一廣/久しぶりのよいお天気で心が洗われるようです。山下忠治/二宮さん、お久しぶりです。今日は、ニコニコご苦労さま。二宮利泰/今日はニコニコ担当です。ご協力有難うございました。

◎次週予告

5月29日第561回例会

☐クラブセミナー

「芝クラブの綱領研究会」

浅間観光株式会社代表取締役

東京芝ロータリークラブ直前会長 鈴木 弘氏

ガバナーノミニー指名公表に関する件

当地区1999-2000年度地区ガバナーノミニー候補者に関するクラブからの提案は1998年5月11日午後5時をもって締め切られました。これを受けて同日夕刻地区指名委員会が開催されました。地区指名委員会はクラブからの提案並びに関係諸資料を慎重審議の結果、東京日本橋ロータリークラブ会員小林禮次郎氏を当地区1999-2000年度ガバナーノミニーの最適任の候補者として指名することを全員一致で決議しました。

同日、指名委員会からこの決議の報告がありましたので、地区ガバナーとして私は、小林禮次郎氏がガバナーノミニー候補者に指名されたことを当地区内全クラブに対して公表致します。

以上の指名に対してR.I.細則13条13.020.7の規定による候補者を推薦したいクラブは、R.I.細則13条の規定に従って地区ガバナー宛書面にてご提案下さいますようお願い致します。提案締切日時は1998年5月26日午後5時です。

なお、参考として小林禮次郎氏の略歴を別紙添付します。

小林禮次郎氏略歴

生年月日：1928年(昭和3年)5月7日
現住所：東京都文京区本駒込6-19-3
学歴：1951年(昭和26年)早稲田大学理工学部応用化学科卒業

職歴：
1951年(昭和26年)株式会社小林コーセー(現株式会社コーセー)入社
1981年(昭和56年)株式会社小林コーセー代表取締役社長に就任
1997年(平成9年)株式会社コーセー代表取締役会長に就任

団体役職歴：
1976年(昭和51年)東京化粧品工業会 副会長→会長
→副会長(現)
1981年(昭和56年)日本ヘアカラー工業会副会長(現)
1988年(昭和63年)日本化粧品工業連合会副会長(現)
1988年(昭和63年)化粧品公正取引協議会副会長(現)
1989年(平成1年)財団法人日本粧業会理事(現)
1994年(平成6年)学校法人獨協学園評議員(現)
1995年(平成7年)財団法人コスメトロジー研究振興財団理事長(現)
1996年(平成8年)学校法人コーセー学園理事長(現)

ロータリー歴：
1966年10月 東京日本橋ロータリークラブ入会
1996-97年度 副会長・会長エレクト
1997-98年度 クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、
米山功労者

賞罰：
1985年(昭和60年)10月薬事功労者厚生大臣表彰
1992年(平成4年)11月藍綬褒章(化粧品産業の振興)
1993年(平成5年)2月公正取引委員会事務局表彰
資格等：

1997年(平成9年)工学博士(早稲田大学理工学部)

回火曜会報告

本年度第11回の火曜会が、5月12日全日空ホテル37階アストラルで開かれました。梅雨を思わせる様な空模様でしたが、多数の会員の方々の参加があり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

当日は、田中 武会員が「歯科人生とロータリー」の題で、大変含蓄の在る、又平素は余り聞くことの出来ない様な話を、判りやすく解説して下さい、一同参考になることが多かったことと思います。

田中会員は、父親から2代続けてのロータリアンだそうで、学生時代からロータリーに大変馴染んで来られ、御自身の生活信条、社会活動への取組み姿勢等に、ロータリー精神が十分に染み込んで居る御様子、本業である歯科治療に尽力される傍ら、予防医学の重要性に着目、日常の診療活動面でも着実に実績を挙げて居られ、更にコンピューター活用等により、患者とその治療に関する情報の共有化を行い、それを通じて患者との信頼関係の構築を計られて居られる等々、いかに巾広く真摯に歯科医療に専念されて居られるかが、肌に傳って来る様な感じでした。

又、比島での歯科予防活動の実践例も聞かせて頂き、国際的な立場での貢献振りが垣間見ることが出来、啓蒙される処が、極めて多かった様に思いました。

田中さんどうも有難うございました。

<金光記>

出席者
小杉、岩瀬、水原、高須、宮武、渡部、武下、関、吉岡、田中、川鍋、金光、吉田、入沢、加藤、佐々木、河原、荒木、大村(19名 敬称略・順不同)

回98年5月本年度・新年度合同理事会議事録

日時 98年5月15日(金) 例会後 13:40~14:50
場所 東京全日空ホテル 1F 飛鳥の間
出席者 伊部、河原、関、高須、吉田、梶内、吉岡、田辺(以上本年度)
武下、宮武、山下、渡部(以上本年度、新年度)
小澁、宮本、小原、大日方(以上新年度)

決議事項

1. 退会希望の件/村川 優君
一身上の都合により同君の退会を97年6月30日付けで承認。
2. 新会員候補者2名の推薦受付を承認。
3. 第6回・新年度第1回クラブ協議会(6/12)テーマ、次第を承認。

報告事項

1. 国際奉仕委員会報告
米山奨学生・李承福さんのカウンセラー圓谷正和君を選出。
(奨学期間1998年4月~2000年3月)
2. 社会奉仕委員会報告/車いすサポートボランティア
(5/21)13名参加予定。
3. 職業奉仕委員会報告/地区職業奉仕・社会奉仕・環境保全合同委員会(5/14)出席報告

[新年度]

1. 新年度(98~99年)各委員会構成(案)の件
2. 新年度(98~99年度)行事計画(案)の件
・ガバナー公式訪問/8月27日(水)18:00~19:00
東京南RCと合同例会(例会場・東京会館)
・第2回クラブ協議会/
7月24日(金)11:00~12:00
テーマ「会員増強と退会防止」
3. 地区協議会(5/8)出席報告

1. 【本 会 議】

ロータリーの夢を追い続けよう

次期幹事 大日方 真

98-99年度地区協議会は、5月8日京王プラザホテルで開催された。参加クラブは83クラブ。ボンベイRCは、ボナベ地区のかんばつの被害がひどく参加出来なかった。新南からは、田辺パストガバナー、宮武次期会長他11名が参加した。

本会議は、岩井ガバナーの点鐘、坂本ソングリーダーによる4か国の国歌斉唱、新しいロータリーソング「Follow Your Dream」の合唱で始まった。岩井ガバナーから3月のアナハイムでの国際協議会、3月27日のクラブ会長エレクトセミナー、本日の地区協議会の目的について説明があった。村野インカミングガバナーは、次年度R.I.会長ジェームス・L.レイシーが提唱する「ロータリーの夢を追い続けよう」を受けて、形式主義を排し実のある簡素化をはかり、各クラブやロータリアンの奉仕を助けるのが地区の姿勢であり、各クラブはロータリーの夢を追い続けて欲しい、と呼びかけた。

また、4大奉仕（職業奉仕、クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕）のそれぞれにおいて、3つの目標を達成しR.I.会長賞に挑戦する、会員純増3%を達成する、来年4月にグアムで行われる地区大会には会員の30%以上（家族を含めて）が参加する、という具体的な目標も示された。午後からは10の部会に分かれて分科会が行われた。

2. 【分 科 会】

●会長部会

次期会長 宮武保義

会長部会では、村野順三ガバナーノミニーによるカウンセラー挨拶に始まり、漆崎義雄元地区研修リーダーから「クラブ会長の責務について」と題する講話があった。各ロータリークラブの会長はR.I.の会長と直結した存在であり、生涯に一度しかないその役割に夢と情熱を傾注するように、と話された。又、ロータリーの綱領、目的を十分に理解せよと云われ、奉仕の理想については、「思いやりの心、助け合いの心、相手の立場に立って物を考える」ことであるとの解釈が示された。新世代に対する奉仕については、世田谷の4ロータリークラブが合同で開催した「新世代フォーラム」の事例について詳しく経験談を話され、「青少年にロータリーの精神を伝えよ、新世代のニーズに合致したプログラムを展開せよ」と訴へられた。

会長部会では、引き続いて、広島昇次期地区会計から、次年度地区予算の説明があり、承認された。しかし関西地区で予定されている国際大会準備金として新規に二千円の人頭分担金が課された事や、ガバナー事務所費の内訳についての詳しい説明がなかったため、その後分區別に開かれた討論の中で、多くの会長から不満が述べられ、今後の改善策が分区分代理に要望された。

●幹事部会

次期幹事 大日方 真

会員数3%の純増を

幹事部会では、会員増強と退会防止について情報交換を行った。私が参加した千代田分区分では各クラブから次のような報告がなされた。

銀座新は、純増6名を達成したが、カウンセラーを強化し退会防止をはかっている。銀座は、10名が退会し、純増はわずか。新橋は、人事異動による退会者には後任の推薦をお願いしている。築地は、入会3年未満の会員で親和会という組織を作り、若い人の活動の場を拡げている。日本橋は、金融関係の会員が7-8名退会し、さらに4名の退会予定者がいて、深刻である。日本橋西も金融関係の人が多く、現状維持が精一杯である。

中央は、1名増えて196名になった。新しい人が新しい人と呼んで来るといふ相乗効果が出ている。シティ日本橋

は、ここ数年入会者とはほぼ同数の退会者が出ている。経済的理由による退会は防止できない。芝は、会員数が安定している。3年未満の会員で青芝会を作って活動しており、退会防止の効果をあげている。

南は、10名入会して13名退会した。現在197名である。元気の良い人を増強委員長にお願いし、さらに入会資格を見直したり、職業分類を改定するなどして、200名維持の努力をしている。新南については、増強委員長に前幹事、出席委員長に元会長をお願いし、万全の備えで、増強と退会防止をはかっていることを報告した。

●クラブ奉仕部会 次期クラブ奉仕委員長 小滋雅亮

カウンセラー・PG松原 治氏、リーダー・次期地区増強拡大委員長桜井昭二氏、サブリーダー・地区クラブ奉仕副委員長由井重光氏より、新年度の活動方針と目標につき発言がありました。

第1に、会員増強と拡大が掲げられ、村野順三GNが過日の国際協議会で次期会長に純増3%をお約束してきたので達成に努力するよう強く要請されました。松原PGより女性会員の件も一考の余地ありとの見解も示されました。

第2に、情報委員会活動に期待したい。新会員には用語が難しい。現会員がすべての質問に答えられるようにし、新会員のオリエンテーションは全会員が分担すべきであると述べられました。

第3には、6分区分の代表から活動方針の発表があり、主として会員増強と退会防止についての意見陳述がありました。

いづれも、ロータリーの原点はしっかりと把握しながら、ロータリーを楽しんで遊ぼうという理念が主流をなしており、各論的には差異は少なく、しかし、私には、徐々なる変革が感じられた会合でありました。

●職業奉仕部会

次期職業奉仕委員長 宮本正祥

職業奉仕部会には黒澤パストガバナー及び松崎地区職業奉仕委員長が出席し開催された。テーブルに6分区分に分かれて座り、まず分区分毎のディスカッションが行われた。テーマは(1)職業奉仕とはどんな奉仕と思うか。(2)「超我的奉仕」、「最もよく奉仕する者最も多く報われる」との意味はどのように理解しているか。(3)職業奉仕の歴史的、社会的意義についてどのように考えているか。(4)来年度職業奉仕ではどのような企画を持っているかなど。そして約30分間の協議後、各分区分代表より発表があり、引続いて質疑応答があった。

職業奉仕の活動に関しては千代田分区分では職場見学、表彰、職業奉仕に関する卓話を行っているが、これだけで良いのかと疑問の声もあった。京浜分区分では分区分活動を計画している。山の手分区分では社会奉仕と共同で青少年犯罪防止運動を展開中。多摩中分区分では年寄のためのインターネットを開設、多摩東分区分ではホームページを開設したとの報告があった。

疑問応答では、職業奉仕は金看板などといわれているが社会にその効果は出ているのかとの質問があった。又このような厳しい時代には、ロータリーの初期のように会員同志が助け合う互助精神を持つべきとの意見もあった。

まとめとしては、職業奉仕は木の幹であり、枝である社会奉仕や国際奉仕につながるものであると地区役員より説明があり、黒澤パストガバナーからは、失せて来た金看板を見直す時期だとの警鐘があった。

●社会奉仕部会

次期社会奉仕委員長 後藤信夫

社会奉仕部会では、

1. ロータリアンの出来る環境保全の実践。
2. 地域社会で果すべきロータリークラブの奉仕活動と

は。というテーマで意見交換をしました。

1のテーマでは、鳥にやさしい広場作りをしたり、生ゴミの処分方法を考えたり、古い清水を守る等々具体的に地域事情に即した活動が報告されましたが、効果を求めるならば長期的にしかもロータリクラブだけでなく、企業や行政もまぎ込んで、地域規模で考えていかないと解決できないことなのかもしれません。

2のテーマでは、骨髄バンクの支援をしたり、障害者の作品展を催したり、ふれあいコンサートを実施したりといった地域に根ざした奉仕活動の反面、あるクラブではメンバーの2/3が、住居も仕事場もそのクラブの地域外ということで、地域社会をどのようにとらえたら良いのかといった声も聞かれた。

最後に橋本カウンセラーから環境について考える事はロータリーではコモンセンスと考えていただきたい。又ロータリーは奉仕する団体ではなく奉仕する人々の集りであるから奉仕する人々である会員をぜひとも増強していただきたいということで終わりました。

●国際奉仕部会 次期国際奉仕委員長 小杉修造 “グアム地区大会に参加を！”

成瀬牧夫次年度地区国際奉仕委員長の開会挨拶で始まり、活動計画案が検討された。

- ①世界社会奉仕の項では直接に相手国のプロジェクトと取り組んで奉仕活動に当たっている。西クラブと武蔵国分寺クラブの報告があった。
- ②同額補助金について、次期地区世界社会奉仕副委員長、江口喜多枝氏より説明があり、これを上手に利用すればクラブ寄付金が2倍以上になる。資金の使い道が明確。などの利点を生かして、各クラブにて積極的な勧誘をすすめた。
- ③バギオ基金の現状と協力について、現地区バギオ基金委員長のスライドを使った報告があり続いて、次年度委員長の藤沢由徳氏よりフィリピンのバギオ地区の話がつけ加えられた。
- ④日韓親善委員会の現状報告があった。次期委員長佐久間崇源氏から田辺賢三ガバナー年度(89～90年度)の時、韓国の3650地区と姉妹クラブを結んだ。インターアクトを使って、両国クラブの親善交流がスタートした。
- ⑤最後に成瀬次期地区委員長より、来年4月8日、9日に催されるグアム地区大会へのロータリアンの参加要請とパシフィック・ベイスン地区の現状が説明された。(カウンセラー／パストガバナー田辺賢三氏)

●ロータリー財団部会 次期ロータリー財団委員長 高橋良士

1. 98～99年度財団への寄付目標額
地区の目標額は30万ドルで当クラブは4,080ドル、ベネファクター(財団恒久基金)地区81名、当クラブ1名で上半期まで達成するようにとの要請があった。
2. シェアシステムと地区活動資金(DDF)
このシステムは一般寄付の中から60%を3年後に地区へ戻し地区財団活動資金とし地区毎の財団プログラムに使用出来るシステムであるが、次年度は44.8万ドルの見込みである。
3. 財団プログラムは①国際親善奨学金、②同額補助金、③研究グループ交換、④3Hプログラム、⑤3H準備助成金、⑥開発途上国で奉仕する大学教員への補助金、

- ⑦ロータリーボランティア、⑧新人道的補助金、⑨ポリオプラスプログラム、⑩ポリオプラスパートナー、⑪ロータリー平和プログラム、⑫ヘルピンググラント、⑬カールミラー助成金の13項目があり各々のプログラムに就いての解説があった。

●米山奨学部会 次期国際奉仕委員 圓谷正和

米山奨学金の歴史、仕組み、奨学委員の役割等に始まり、奨学会の現状と今後、奨学生選考の現状、次年度における増進目標と各クラブ委員長へのお願いというテーマでの説明を経て、最後に質疑応答で2時間20分の部会を時間通り終了。

米山奨学金は、国内に200以上ある民間の奨学団体の中で最大の団体である。奨学金の額は文部省に次いで高い。文部省奨学金との大きな違いは、米山の場合は世話クラブとカウンセラー制度を採っているという点である。文部省留学生の場合、奨学金は自動的に留学生の口座に振り込まれるため、奨学金提供側と留学生の間に人間的な触れ合いの発生する余地がない。その結果、反日感情を抱いて帰国する学生がいるらしいが、米山の場合は必ず例会で手渡し上、「面倒見る」のではなく、「お世話する」という態度で学生に接しているの、反日学生になる例は殆どないらしい。

本年度は45カ国から1100名の米山奨学生が日本で勉強している。累計では8105名になり、OBも大いに活躍している。たとえば、数年前に新しくできた台北東海RCのメンバーのうち、会長も含め15人が米山奨学生のOBである。現在の留学生の国籍内訳は、日本語試験の結果、韓国、中国、台湾が多くなり、現在では全体の8割近くを占めている。これら3カ国以外の国の学生をできるだけ増やすために、次年度から指定校制度を導入することにした。

米山奨学委員長としての役割は、米山奨学金に関する情報を会員に伝えるのと寄付の奨励である。10月の米山活動月間に免税を前面に押し出したキャンペーンを行い、増進を図る予定である。

●新世代部会 次期地域社会調査委員長 清原元輔

矢野洋四朗パストガバナーをカウンセラーに迎え、近藤徳彌(町田サルビア)次期地区新世代委員長がリーダーとなり『新世代への奉仕を考える』をテーマとして会が進められた。リーダーからは若い世代に奉仕の心を育てたいとの説明がなされ、新世代会議を実施してほしいとの要請があった。地域社会において継続して若い世代への対応をしてほしいとの要望も出された。続いて①ローターアクト、②インターアクト、③青少年交換の各委員会より活動についての報告がなされた。

①ローターアクトに奉仕活動の機会を与えてほしい、そしてロータリアンにローターアクトに対する関心を高めてほしいとの要望があった。

②地区委員会が担当RCをこえて、IACに直接働きかける事は控えたい。インターアクト地区大会には、出来るだけ多くのクラブに参加してほしいとの要請があった。

③青少年交換の現状と問題点及びその対応について、資料をもとに説明がありました。質疑応答では、インターアクトは14才～18才ローターアクトは19才～30才となっており次世代の育成が目的と思うが、新世代の扱う年齢についてもう少し低年齢まで広げたらどうかとの提案が出されました。

東京新南ロータリークラブ

会長：武下 朗 副会長：山下忠治 幹事：渡部一元

〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、
田中 武、小杉 眞史、川鍋 二郎、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士

(編集担当順)